

令和 2 年 6 月

富山市議会定例会

市長提案理由説明要旨

令和2年6月定例会市議会の開会にあたり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

世界で深刻な被害をもたらしております新型コロナウイルス感染症につきましては、我が国では、一時、1日あたりの新規感染者数が700人台まで増加いたしました。5月の中旬頃からは概ね50人を下回る水準で推移しております。

政府は、こうした新規感染者数の状況に加え、医療提供体制の確保やPCR検査などが遅滞なく行える監視体制が整備されたことなどから、今回の新型コロナウイルス感染症の流行については、ほぼ収束させることができたとし、4月に発出した緊急事態宣言を、去る5月25日に全面解除することとされたところであります。

本市におきましては、4月20日の19人をピークに4月の中旬以降、2桁台の新規感染者が確認されておりましたが、5月からは新規感染者数がゼロという日も多くなっております。

このように感染の拡大を回避し、減少へと転じさせることができましたのもひとえに、市民の皆様が不要不急の外出を控え、3つの密を避ける行動を心がけていただいたことや、事業者の皆様が休業や営業時間の短縮等にご協力いただいたことなどによるものであり、心より

お礼を申し上げます。

また、感染リスクと背中合わせの過酷な環境の下で強い使命感を持って全力を尽くしていただきました医療従事者等の皆様に対しまして、深く感謝申し上げます。

一方、新型コロナウイルス感染症につきましては、今後も感染拡大のリスクが存在するため、有効な治療法やワクチンが確立されるまでは感染防止の取組に終わりはなく、感染を抑えながら完全なる日常を取り戻すにはかなりの時間を要すると言われております。

市民の皆様方には、再度の感染拡大を防止し社会経済活動を回復させるため、「3つの密」の回避や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の継続など「新しい生活様式」を着実に実践していただきますよう重ねてお願いいたします。

(最近の経済情勢について)

次に、最近の経済情勢について申し上げます。

5月の国の月例経済報告によれば、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費は急速な減少が続いており、輸出も急速に減少しているほか、設備投資は、このところ弱含んでいることなどから我が国の景気は、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にあるとさ

れております。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくものの、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれ、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるとされております。

また、富山県の経済情勢につきましては、設備投資は持ち直しの動きに足踏みがみられ、個人消費は急速に減少しており、雇用情勢も弱い動きがみられることなどから景気は悪化しており、極めて厳しい状況にあるとされております。

感染の恐れが払拭できない中での経済活動の再開であり、また、厳しい外出自粛を経験した人々には、これまでの価値観に対する変化が芽生えていると考えられます。こうした環境下での経済の回復には時間が必要であり、事業者や雇用者への支援が不可欠となります。

本市といたしましても、国の第2次補正予算の動向を注視するとともに、新たな支援も模索してまいりたいと考えております。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

(1 予算案件について)

予算案件については、新型コロナウイルス感染症に関連する経費や、国・県の追加承認に伴うものなどの補正を行うものであり、一般会計では 22 億 9,100 万余円を追加するものであります。また、特別会計では、企業団地造成事業などにおいて 3,500 万余円、企業会計では病院事業において 3,700 万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(① 感染拡大を防止する取組に伴うもの)

まず、新型コロナウイルス感染症に関連する経費につきまして、感染拡大を防止する取組として、小中学校の臨時休業による学童保育や放課後等デイサービス事業の開所時間拡大等に伴う経費、保育施設や介護サービス事業所等において消毒液等の感染防止用品を購入するための経費などを計上しております。

(② 市民の暮らしを守る取組に伴うもの)

次に、市民の暮らしを守る取組につきましては、子育て世帯の生活を支援するため、児童手当受給世帯に対し、児童一人につき 1 万円を支給する「子育て世帯への臨時特別給付金」や、ひとり親家庭への経済的支援として、5 月臨時会での「ひとり親生活支援事業給付金」等

に加え、児童扶養手当受給世帯に対し3万円を支給する「ひとり親家庭支援給付金」、障害福祉サービス事業所の利用自粛要請に応じた家庭への協力金などを計上しております。

(③ 地域経済を支える取組に伴うもの)

次に、地域経済を支える取組としましては、本市の農林水産業を支える生産者や加工業者等を応援するための販売促進イベントの開催に要する経費や、国が実施する「Go To キャンペーン」に合わせて観光客を富山へ誘客するため、路面電車の無料券や飲食店の割引クーポンなどをセットにしたパスポートを配布する経費などを計上しております。

(④ その他の事業)

その他の事業としましては、小中学校における家庭でのオンライン学習環境の整備に要する経費や、市民・企業の皆様からの篤志によります寄附を「新型コロナウイルス感染症対策基金」に積立てる経費などを計上しております。

(⑤ 特別会計・企業会計)

また、国民健康保険事業では、新たに実施する傷病手当金に要する

経費、病院事業では、感染リスク低減のため、医療従事者が着用する防護具の購入や、感染の疑いがある患者を隔離して診察するため、プレハブ製の発熱外来を設置する経費などを計上しております。

以上が新型コロナウイルス感染症に関連する経費であり、感染拡大を防止し、市民のくらしを守り、地域経済を支えるため、総力を挙げてこれらの取組を実行してまいります。

(⑥ 国・県の追加承認に伴うもの)

次に、新型コロナウイルス感染症関連以外の案件について申し上げます。

まず、国・県の追加承認に伴うものとして、河川の整備や橋りょうの維持補修、港湾の保全工事などに要する経費を計上しております。

(⑦ その他の事業)

その他の追加補正としては、富山城址公園パーク P F I 等の検討及び調査に要する経費や、3 x 3 バスケットボールコート整備工事に要する経費、篤志によります寄附を、新設する「薬業振興事業基金」に積み立てる経費などを計上しております。

(⑧ 特別会計)

特別会計については、企業団地造成事業において、土地売払いに伴う長期債償還元金や一般会計繰出金、後期高齢者医療事業及び国民健康保険事業において、制度改正に伴うシステム改修に要する経費を計上しております。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源としては、新型コロナウイルスに関連する経費については、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」や、5月臨時会で積立てた新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金などを充てております。

その他の経費については、一般会計では、事業に伴う国・県支出金、繰入金、地方債及び繰越金などを充てております。また、特別会計・企業会計では、県支出金、寄附金及び一般会計からの繰入金などを充てております。

次に、継続費及び債務負担行為について申し上げます。

まず、継続費については、一般会計において、呉羽丘陵フットパス連絡橋整備工事について追加するものであります。

次に、債務負担行為については、大沢野地域公共施設複合化事業などに要する経費について限度額を設定するものであります。

(2 その他の案件)

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市市税条例等の一部を改正する条例」を制定するものなど16件であります。

契約案件については、奥田小学校校舎解体工事の請負契約を締結するものなど7件であります。

その他の案件については、財産取得の件が1件であります。

報告案件については、損害賠償請求に係る和解の専決処分について報告するもの1件、令和元年度の予算を翌年度に繰り越して執行することについての報告11件、債権放棄の報告1件、一般財団法人富山市ガラス工芸センターなど市の出資法人について経営状況を報告するもの18件であります。

(令和元年度決算見込みについて)

なお、この機会に令和元年度の決算見込みについて、ご報告申し上げます。

各会計の決算については現在調製中ではありますが、一般会計の決算では、実質収支で剰余金が生じる見込みであります。

また、特別会計におきましても、若干の剰余金が生じる見込みであります。

企業会計におきましては、収益的収支では、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業においては利益が生じる見込みであります、病院事業では損失が生じる見込みであります。

また、資本的収支では、全ての企業会計において資金不足が見込まれますが、この資金不足については、内部留保資金などで補填することとしております。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますよう、お願い申し上げます。